

「計画論」

実行性
社会をかえる

行政ができることは有限と自覚する。されど公共的資源の集合で可能となることがあることを自覚する。	実効性を意識。因果関係をきっちり。サイクルの中で増長。	「計画」は有効か？逆追い（Back casting）や禁止計画（Not to Do）を考える、決める。
何をするのか and どうすすめるのか。（市民側プレイヤーがそろっている、やりたいことはある 方針にどうインプットしていくか）	繰り返して有効となる取組みを尊重する。（単発花火はいらぬ。イベント？モデル事業？）	「エコシティたかつ」= not only 温暖化。
分野融合的な取り組みに着目する。	資源マネジメントと優先順位づけをしっかりとやる。（意義ある取組は沢山ある。）（+と-を考える。）	持続可能性を区レベルで展開する場合、経済的、環境的側面、社会的側面、側面の抽出。区レベルで戦略的なアセスメント。
中間スケールの戦略（not global, Not personal）をつくる。	～メニューは多様～区レベルで展開する意味とは？統合的アプローチ（プロジェクトの連動性）。即地的総合。	川崎のおもしろさは、globalなlevelを意識している。Globalな動向-国-市-区-（総合的）面的に考える。
区レベルでのSEA（戦略的環境アセスメント）。	エコロジカルなことは何かを考える。人間は環境に手を加えながら生きてきた。	循環型地域社会づくりのために資源の見直しを。

「手法」

「水系」「土地を読む」「微気候」

「地図による共有化」

C放出のHot Spotの配置、sink（緑）の配置の地図化を促す工夫。	大きなテーマと身近な試みとのギャップをどうするか？まず学習か？
水災害の危険地、保水、遊水のpoint、生物双接性回復維持拠点の地図化。	高津区の郷土のイメージをビジュアルに！ 断面線のダイナミズム、区報のレターヘッド
緑の絵図にメッセージを込める、又は緑の鳥目図の作成。	

風の道・風

風を生かしたまちづくり。
構造的なことである程度の風の道や気候（温度差）などが分かる。

ヒートアイランド

局地的温暖化（ヒートアイランド）の色レベルでの抑制可能性。

学校

子どもたちの自然学習・環境活動を手がかりにした地域からのエコシティ作り。	健康・安全・便利さを最小にして、子ども達への不便な生活の楽しさを。
小学校を地域社会-環境町づくりの確認-	学校を基地とした温暖化（緩和+適応）対応、生物多様性対応のモデル的推進。
企業のCSRに、学校と同時の企業施設・用地の総合的な環境対応の工夫を。	

「エアコン」!!!

学校のエアコン化。

子どもたちへ

地域・つながり

町内会、子ども会、地域で人と人とのつながり。

太陽光

区役所庁舎を環境にやさしい施設にする。エネルギー、緑化、人にやさしい事務室。	省エネルギー診断。商店、小規模ビルの省エネ診断。節エネ対策。
マンション建設業者には太陽光パネル設置を義務づける。	小中学校の屋上に太陽光発電の設置を考えて頂きたい。
区内各所に区民（市民）共同発電所を作る。	太陽光パネルなどのエコ製品を普及啓発を進める。マンション修繕時期（1年周期）に情報がいきわたっていない。モデル拠点をつくることで、体験する。
光触媒技術を有効活用して温暖化にそなえよう。	太陽光発電。ビルの屋上は発電所に！市・区連携した導入計画。エコファンド活用。

区役所で、学校で

カーボンオフセット

カーボンオフセット事業の実施。

企業市民

学生、リタイアした人などが動ける資金循環システムづくり。（無償はおかしい!!!）ex.企業のCSR - ファンド	ものづくり共和国の中で、関心を持っている人もいる。
企業との連携（エコな事業に企業が連携）。	高津エコファンドを創り出し、市民資金で緑化推進を。市民緑地。
実現性を高める。	

しくみ

「人とお金」

「個別テーマ」

交通

「生活の足」に関する緒側面。ex.交通（自家用車、自転車）、コミュニティバス、カーシェアリング、違法駐輪

クルマではなく、歩いて、自転車で、電車やバスで出かけよう。

ごみ

区内の落葉・剪定ごみは、堆肥化（健康の森で）農地に 野菜を家庭に循環！

地産地消、農のあるまちづくりの推進。川崎ごみ連・川崎市協働事業・生ごみ堆肥化ルートを参考に小さな単位で始める。（生ごみは自分の手で土に還すことができる資源）

町会毎に生ごみ削減教室開催！（堆肥化）

建築でデザイン

白い建物

建設業者への指導（マンションの建て方など）

水・水・水...

水を汚さない取り組み。

二ヶ領用水のせきの高さをupしマイナスイオンを多く出させる。

区内打ち水作成を定期的に全域で多摩川や二ヶ領用水の水を利用して！

雨水利用。吸水性舗装道路に水を流す。夏の打ち水活用。虹作戦

水が流れて気体となる時に熱を奪う。二ヶ領用水が区内全域で熱を奪える状態にする。

土と水の価値を見直そう！（熱循環のため、水循環のため、生態系のため、そして私たちのため）

二ヶ領用水に小水力発電を作れないか。水車でもいい。

雨水利用。ポリタンクなどの灌水装置の助成。

緑・みどり

花壇やプランターにぜひ種を蒔いて頂きたい。育てて行く楽しみを市民にえて頂く。

街路樹を植えて、南武線沿いの道に緑陰をつくる。

緑を保存して何になるのか。身近な緑がなければ市民はついてこないと思います。

「かわさきさだち」の野菜を食べよう。市内の農作物流通と農地保全に。

相続によって消滅する民有地の緑や農地を残す方を推進する。

再生した（作った）緑にも愛を。

緑の小道のネーミング。小学校毎に「あじさいの小道」...

二ヶ領用水脇で木も草もないコンクリートにプランタを置き、フェンスに市のカーテンを！

高津区の緑地農地の現状を知ろう。

おうちでエコ

区民の生活スタイルを変える取組み。ソロライフ。

家庭で省電を行って本当にエコになるのか？など？が多い。きちんとしたビジョンが必要。

各家庭で出来るエコ対策は、どんなことが出来るのか。（自宅の経験から）

大山街道の江戸時代のサステナブル生活の学習。

油

使用済みてんぷら油を原料にしたBDFでコミュニティバスを走らせた。

企業

開発・ルール

高層住宅について緑化の取り組みを重視しながら、開発の推進とのかねあい。

まち協

まちづくり協議会へ権限を。（成城自治会のような）

コメント

5回の進め方！！
「資源」を組み合わせる 資源の整理・活用...

市の計画体系との関係性
「できないこと」「できること」

適切な情報提供を

話が「ゼロ」に戻ってしまう...
「都市マス」「歩きたくなる高津」

「おとしどころ」
大きなビジョン+10のモデル
「いい地図」をつくる
温暖化でいいが...緩和策 適応策
基地

高津「初」「発」
「動くモデルをつくる」